

2019(令和元)年度第1回伊賀市地域公共交通活性化再生協議会
阿山地域部会 議事概要

■開催日時 2019(令和元)年11月21日(木)

午後1時30分～2時30分

■開催場所 阿山保健福祉センター2階・健康指導室

■出席者 (敬称略)

【委員】

上林 良畝(河合地域住民自治協議会会長)、西田 悦治(靱田自治協議会会長)、北川 幸治(玉滝地域まちづくり協議会会長)、藤森 秀行(丸柱地域まちづくり協議会会長)、鷹尾 千代子(阿山老人クラブ連合会 副会長)、本田 基久(伊賀市阿山地区民生委員児童委員協議会会長)、中森 研(伊賀市社会福祉協議会東部圏域課長)

【事務局】

交通政策課 課長 福岡秀明、主幹 坂森荘平、主査 吉福将徳、
阿山支所 支所長 川瀬 正司、振興課 課長 奥 幸子、
主幹 福西 高英、主任 瀧藤 孝尚

■傍聴者 1人

■会議概要

1. 開会

川瀬支所長 挨拶

2. 部会長、副部会長の互選について

(互選結果・敬称略)

部会長 北川 幸治(玉滝地域まちづくり協議会会長)

副部会長 本田 基久(伊賀市阿山地区民生委員児童委員協議会会長)

3. 協議事項

(1) 行政バスへの回数券及び定期券の導入について

事務局から資料1に基づき説明

【質疑応答】

部委員	阿山から上野までの定期代はいくらになるか。
事務局	玉滝線については、三重交通所定の定期代となります。今回設定する定期券は汎用性を広げ、阿山支所管内の行政バス、しらさぎ両方で利用することができます

部委員	定期はどこで買えるのか。
事務局	各支所及び本庁と、ハイトピア伊賀1階に入っている三重交通の営業所になります。支所・本庁は土日祝日休業ですが、三重交通の営業所では土曜日でも購入することができます。

【承認】

(2) 伊賀市地域公共交通網形成計画に基づく廃止代替バス路線の再編について

事務局から資料2に基づき説明

【質疑応答】

部委員	この再編で、市の負担額はどれくらい改善するのか。
事務局	見込みですが、3,000万円程度縮減できると考えています。
部委員	改善は必要なことだが、利便性の担保が大事だ。
事務局	おっしゃるとおりで、路線バスを残していきたいという気持ちで取り組んでいますが、希望する便すべてを走らせることは難しいです。路線を残しながら、それを補完できるもの、例えば地域運行バス等への移行も検討することができればと思います。

【承認】

(3) 阿山行政サービス巡回車のフリー乗降制度の導入について

事務局から資料3に基づき説明

【質疑応答】

部委員	車両にどの程度のドライブレコーダーが付いているのか。
事務局	前方と車内を映すものが付いています。
部委員	前後はほしいと思うが。
事務局	予算との関係もありますので、公用車の導入状況を確認しながら検討していきたいと思います。
部委員	河合丸柱線の県道部分はフリーにはならないのか。
事務局	交通量が多く、道幅が狭いところがあるということと、走っている車のスピードも速いという理由で、公安委員会に認めてもらえなかったため除外となっています。
部委員	停留所から遠いと言う人がいる。ルート変更してはどうか。

事務局	12月の法定協議会で承認を得て手続きを進めることが、スケジュールの面で非常に厳しい状況です。また、便利になるというだけでなく、実際に乗っていただけるという声をいただきたい。
部委員	阿山ではどれだけの人が利用しているのか。
事務局	平成30年度実績で約2,900人の利用があります。5年前は、6,200人だったので、半分以下になっています。
部委員	中期、長期の展望についてはどうか。バスは一回廃止すると復活は難しいと思うのでお聞きしたい。
事務局	できるだけ残していきたいという姿勢で進めています。乗りにくいという意見があり変更が必要であれば、必要な手法を考えていきたいと考えています。
部委員	平成28年度頃にデマンドの話が出たが、その後進んでいない。
事務局	デマンド導入の話は、一旦白紙になったと聞いています。阿山の行政バスは何度かダイヤやルートの変更を行い、利便性を向上させようとしていますが、次の段階ということになりましたら皆さまのご意見を反映できればと思っています。
部委員	まずは皆に利用してもらわないといけない。区長が集まったときに、利用してもらいやすいような方法を連絡して、皆さんの声を聞いてみたいと思う。

【承認】

4. 報告事項

(1) 営業バス路線「玉滝線」について

事務局から資料4に基づき説明

【質疑応答】

部委員	今すぐ廃止ということではないですね。
事務局	三重交通は令和2年3月でやめたいと言ってきましたが協議の結果、令和2年度に代替手段の検討を行うとして廃止は1年間先送りという回答を得ました。ご理解いただきながら、乗っていただきやすいように努めますので、ご協力を賜りたい。
部委員	市職員も公共交通を利用するように願いたい。

(2) (仮称)伊賀市地域公共交通網形成計画の策定について

事務局から資料5に基づき説明

【質疑応答】なし

5. その他

【質疑応答】

部委員 (社協)	いろいろなサービスを選んでいただけるのはいいことなので、社協も協力していきたい。
部委員	満足度を高めることが大事だ、フリー乗降制度に期待している。
事務局	定時定路線型の運行ではカバーできないところもあります。交通というツールで、何を選んでいくのかというところがあるのかと思います。
部委員	支所の境を越えたバスの仕組みを考えたり、名阪を介していがまちや阿山をまわるバスを考えてほしい。
事務局	本当に乗っていただけるのかというところだと思います。 市内の廃止代替バスで、例えば予野線には乗客1人あたり4千円の公費をつぎ込んでいます。今年、廃止代替バス再編の説明にまわった15地区のうち3分の2の地区が、「乗らないのなら、違うところへ公費をまわしては」というご意見でした。 今後も、支所と連絡を取りながら、バス路線改善の検討を進めていただければと思います。

(以上)